

令和元年度 維持管理状況(8月1日～31日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名等	焼却能力	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃烧室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突) (O <sub>2</sub> 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去
	t/日			t	℃	℃	ppm	
有明	400	1号炉	可 燃 ご み	6,014.02	996～1,156	170～175	5～19	ボイラ設備の除じんはボイラスートブロワ又はボイラ槌打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。
		2号炉		定期点検補修				
千歳	600	1号炉		14,697.83	995～1,163	172～178	4～12	
江戸川	600	1号炉		7,520.76	880～976	170～171	0～7	
		2号炉		7,647.92	877～972	168～176	0～5	
墨田	600	1号炉		8,122.28	1,000～1,190	164～166	0	
北	600	1号炉		13,153.86	953～1,235	163～169	0～36	
新江東	1,800	1号炉		15,972.26	927～1,126	168～173	0～9	
		2号炉		定期点検補修中				
		3号炉		11,730.30	912～1,094	168～175	0～4	
港	900	1号炉		定期点検補修中				
		2号炉		5,292.40	991～1,241	167～170	1～49	
		3号炉		4,243.13	957～1,234	166～168	0～32	
豊島	400	1号炉		4,941.52	864～919	157～158	0～99	
		2号炉		5,036.94	875～923	156～156	0～53	
渋谷	200	1号炉		4,606.82	927～1,013	144～160	0～138* <sup>④</sup>	
中央	600	1号炉		8,872.07	838～1,050* <sup>②</sup>	148～152	1～21	
		2号炉		8,862.62	887～1,046	149～152	2～31	
板橋	600	1号炉		定期点検補修中				
		2号炉		3,453.03	1,021～1,210	156～162	2～6	
多摩川	300	1号炉		3,680.03	909～1,023	155	3～6	
		2号炉		3,626.97	894～1,020	155	2～6	
足立	700	1号炉		9,506.19	896～1,041	170～176	1～19	
		2号炉		9,752.40	904～1,052	171～176	1～85	
品川	600	1号炉	定期点検補修					
		2号炉	4,132.21	940～1,090	159～171	0～30		
葛飾	500	1号炉	7,152.40	918～1,125	152～174	4～25		
		2号炉	6,759.72	846* <sup>①</sup> ～1,057	156～172	1～66		
世田谷	300	1号炉	3,040.64	941～1,039	168～191	0～56		
		2号炉	定期点検補修					
大田	600	1号炉	9,155.90	862～1,047	151～165	3～37		
		2号炉	6,763.39	880～1,032	149～164	5～38		
練馬	500	1号炉	7,484.75	878～1,026	159～171	1～59		
		2号炉	7,092.49	882～1,045	159～169	3～53		
杉並	600	1号炉	7,824.62	903～1,007	154～163	0～123* <sup>③</sup>		
		2号炉	8,598.26	891～1,026	152～160	0～72		

注:大田清掃工場 第一工場、中防灰溶融施設、破碎ごみ処理施設は休止しています。

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(\*)

① 葛飾清掃工場 2号炉8月6日(火) 24:00

燃焼室ガス温度が、一時間平均値で846°Cを記録した。

投入ごみ中の水分過多により燃焼室ガス温度が低下した。

ごみホツパ散水停止、助燃バーナ運転、各燃焼空気流量調整及びストーカ速度調整を行い、燃焼状態が改善した。

② 中央清掃工場 1号炉8月17日(土) 15:00

燃焼室ガス温度が、一時間平均値で838°Cを記録した。

焼却炉に投入されたごみ質が安定せず、14時18分頃から1号炉の蒸気発生量及び炉内温度の低下が著しくなり、ストーカ速度及び燃焼空気の手動介入を行ったが燃焼ガス温度の改善がみられなかったため14時48分頃から助燃バーナーを着火し、燃焼状態が改善した。

③ 杉並清掃工場 1号炉8月19日(月) 5:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で123ppmを記録した。

ごみバンクの残量が少なく、ごみバンク底部にある圧縮されたごみを一定量含んだものを連続的に焼却していた。圧縮されたごみが焼却炉内でほぐれたことにより、急速に燃焼し酸素不足となり、一酸化炭素濃度が上昇した。

燃焼空気量の手動介入により、燃焼状態が回復した。

④ 渋谷清掃工場 1号炉8月28日(水) 21:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で138ppmを記録した。

ごみ質変動により燃焼が不安定となり、一酸化炭素濃度が上昇した。

酸素濃度制御等の手動介入により、燃焼状態が回復した。

令和元年度 維持管理状況(8月1日~31日) <工場設置計器の測定結果>より